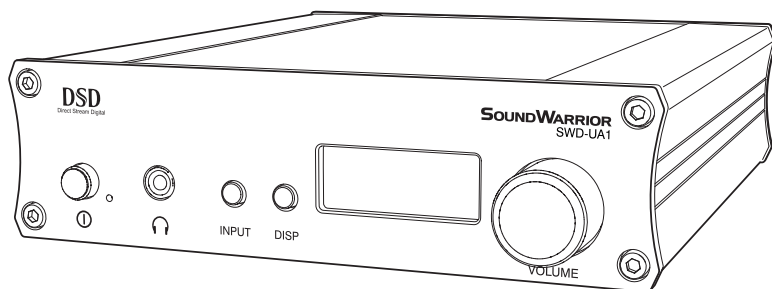


SOUNDWARRIOR

USB-DAC 内蔵プリメインアンプ

SWD-UA1

取扱説明書



目次	2
ご使用の前に	6
各部の名前	8
接続のしかた	10
基本操作	14
再生のしかた	16
ディスプレイ	26
お困りの時は	30

目次

安全上のご注意	4
---------	---

ご使用の前に

ご使用の前に	6
付属品	6
ゴム足を取り付ける	6
設置する	6
お手入れのしかた	6
特長	6
接続例	7

各部の名前

前面パネル	8
リモコン	8
後面パネル	9
リモコン向き	9
リモコンの電池交換	9

接続のしかた

スピーカーの接続	10
サブウーファースの接続	11
アクティブスピーカーの接続	11
ヘッドホンの接続	11
パソコンの接続	12
オーディオ機器の接続 (Opt)	12
オーディオ機器の接続 (Coax)	12
AC アダプターの接続	13
リモコンの操作	13

基本操作

電源を入れる	14
入力ソースを選ぶ	14
音量を調節する	15
電源を切る	15

再生のしかた

Mac で再生	16
Mac と接続する	16
サウンドデバイスを設定をする	16
サンプリング周波数を設定する	17
再生する	17
Windows で再生	18
ハイレゾ PCM や DSD の再生に必要なもの	18
専用ドライバーのインストール	19
Windows と接続する	20
デバイスのセットアップ	20
本機との接続を確認する	21
再生する	21
専用ドライバーをインストールせずに聴く	22
バッファサイズを調節する	23
オーディオ機器で再生 (OPTICAL)	24
オーディオ機 と接続する	24
再生する	24
入力音声信号について	24
オーディオ機器で再生 (COAXIAL)	25
オーディオ機 と接続する	25
再生する	25
Emph 表示について	25

ディスプレイ

ディスプレイ	26
表示切換	26
設定モード	27
ディスプレイの表示 (例)	28

お困りの時は

商標について	30
主な仕様	31
アフターサービス	31

安全上のご注意

安全上の表示説明

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

⚠ 警告

誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷に結びつく可能性があるもの。

⚠ 注意

誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

△ 注意

注意すること

⊘ 禁止

してはいけないこと

● 指示

必ず行うこと

⚠ 警告



AC アダプターを
コンセントから抜く

異常が発生したらすぐに AC アダプターをコンセントから抜く

- 煙やにおい、異音がするとき
- 機器に水がかかったとき
- 落としたり破損したりしたとき

直ちに使用を中止し、販売店へ修理を依頼してください。



風呂場での使用禁止

風呂場やシャワー室で使用しない

内部に異物や水が入ると感電・火災の原因となります。



水濡れ禁止

屋外で使用しない

花瓶や液体の入った容器をそばに置かない

内部に異物や水が入ると感電・火災の原因となります。



分解禁止

カバーやパネルを外さない

改造しない

火災・感電の原因となります。

本機や AC アダプターの放熱を妨げない

布をかけたり、狭い場所や通気性の悪い場所に設置したりしないでください。

火災の原因となります。



禁止

電源コードを傷つけない

電源コードの上に重いものを載せたり、無理に曲げたりしない

コードの破損により、火災・感電の原因となります。

雷が鳴りだしたら触れない

感電の原因となります。



禁止

長時間、大音量で聴かない

聴覚障害の原因となります。

警告



指示

AC アダプターはコンセントに確実に差し込む
AC アダプターのプラグは定期的に清掃する
プラグとコンセントの周囲にほこりが付着すると火災・感電の原因となります。

注意



ぬれた手で触れない

ぬれた手で AC アダプターを抜き差ししない
感電の原因となります。

電源に付属の AC アダプター以外は使用しない
火災や感電、故障の原因となります。

AC アダプターを抜くときはコードを引っ張らない
コードが損傷し、火災・感電の原因になります。



禁止

不安定な場所に設置しない
落下によるけがの原因となります。

湿気やほこりが多い場所に設置しない
調理台や加湿器のそば、油煙や湯気が当たる場所などに設置しない
火災・感電の原因になることがあります。

長期間使用しないときは AC アダプターをコンセントから抜く



指示

接続する音響機器は取扱説明書に従って使用する

電源を切る前に音量を最小にする
音量を絞ってから入力機器を接続する
電源を入れた時に大きな音が出ると、聴覚障害や機器の故障の原因となります。

電池の取り扱いについて

警告



禁止

高温になる場所で保管しない
破裂や液漏れ、発火により、火災やけがの原因になります。

金属製の小物類と一緒に携帯または保管しない
ショートして液漏れや破裂、発熱などの原因となります。

指定以外の電池は使用しない
破裂や液漏れにより、火災やけがの原因になります。



指示

電池は極性表示に注意して正しく入れる
間違えると電池の破裂や液漏れにより、火災やけがの原因になります。

長期間使用しないときは電池を取り出す
液漏れにより、火災やけがの原因になります。

ご使用の前に

お買い上げいただきありがとうございます。本機をご使用になる前に、この取扱説明書をお読みください。またお読みになったあとは、この「取扱説明書」と「保証書」は大切に保管してください。

1 付属品

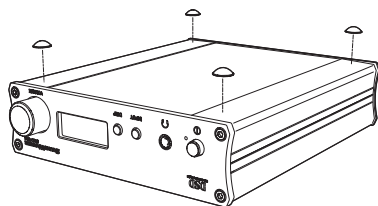
本製品の同梱の付属品をご確認ください。

- AC アダプター 1 個 ● リモコン 1 個 ● ゴム足 4 個
- 取扱説明書（本書） 1 冊 ● 保証書 1 枚

ご使用なられる再生機器と本機との接続コードは、別途ご用意ください。

2 ゴム足を取り付ける

付属のゴム足を本体の底面に貼りつけてください。



3 設置する

横向きに設置します。

ラジオやテレビの音声に雑音が入ったり、画像が乱れたりする場合は、ラジオ、テレビ、チューナー、室内アンテナなどから本機を離して設置してください。

4 お手入れのしかた

水でぬらし固く絞った柔らかい布でふいてください。シンナーやベンジン、アルコールなどは使用しないでください。

特長

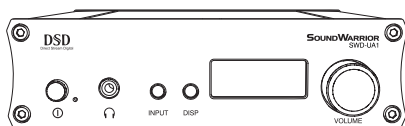
本機は USB-DAC、ヘッドホンアンプ、パワーアンプの機能を凝縮したコンパクトなプリメインアンプです。USB、同軸デジタル、光デジタルの 3 系統のデジタル入力を備え、ヘッドホンまたはスピーカーで手軽に高音質をお楽しみ頂けます。スピーカーはパッシブスピーカーでもアクティブスピーカーでもお使い頂けます。

同軸デジタル及び光デジタル入力は最高 192kHz、USB 入力は最高 384kHz のサンプリングレートに対応します。また、USB 入力は最高 11.2896MHz の DSD 音源の再生も可能です。

表示器には視認性の良い有機 EL ディスプレイを採用。設定により輝度の変更も可能です。表示方法は①入力ソース表示優先、②入力サンプリング周波数表示優先、③音量表示優先の 3 種類を用意しました。お好みによって見やすい表示を選択できます。

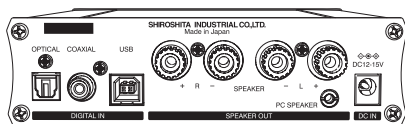
接続例

前面パネル

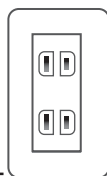


ヘッドホン

後面パネル



付属の AC アダプター



AC100V

OPTICAL



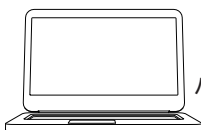
光デジタル出力端子付き
・ DVD プレーヤー
・ BD プレーヤー
・ テレビ

COAXIAL



同軸デジタル出力端子付き
・ CD プレーヤー
・ デジタルレコーダー

USB



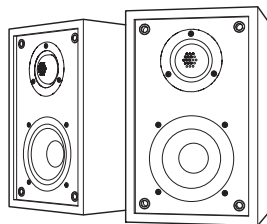
パソコン

PC SPEAKER

・ アクティブスピーカー
・ パワードスピーカー
・ サブウーファー

SPEAKER

・ スピーカー (R/L)



接続ケーブル

ご使用の再生機器に合わせて、必要な接続ケーブルは別途ご用意ください。

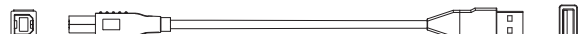
Ⓐ 光デジタルケーブル(OPTICAL)



Ⓑ RCA同軸デジタルケーブル(COAXIAL)

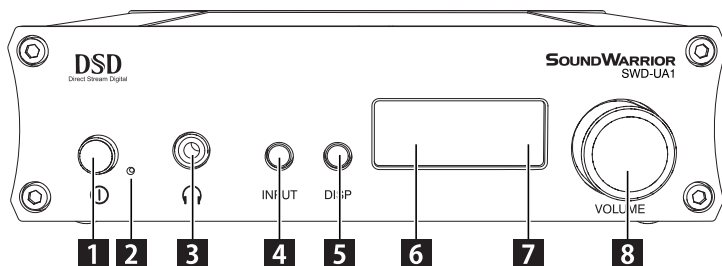


Ⓒ USBケーブル(Type-B)



各部の名前

前面パネル

**1 電源スイッチ**

電源の入／切をします。(➡P14)

2 電源ランプ

電源が入ると点灯します。

保護回路がはたらいているときに約 3 秒間点滅します。(➡P10)

3 ヘッドホン端子

ヘッドホンを接続します。(➡P11)

4 INPUT ボタン (入力切換)

入力ソースを切り換えます。(➡P14)

5 DISP ボタン (表示切換)

ディスプレイの表示を切り換えます。長押しで「設定モード」になります。(➡P26)

6 ディスプレイ

各種情報を表示します。(➡P26)

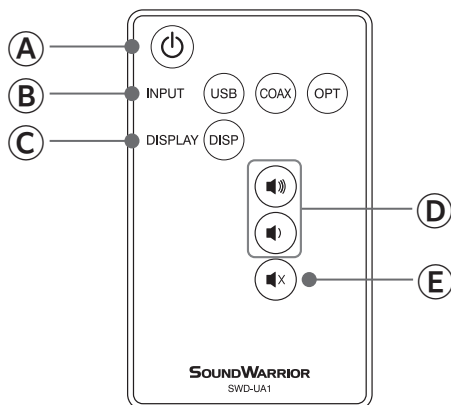
7 リモコン受光部

リモコンからの信号を受信します。(➡P9)

8 音量調節つまみ (VOLUME)

音量を調節します。(➡P15)
「設定モード」で値を変更します。(➡P27)

リモコン

**① 電源スイッチ**

電源の入／切をします。

② INPUT ボタン (入力切換)

入力ソースを切り換えます。

③ DISP ボタン (表示切換)

ディスプレイの表示を切り換えます。
長押しすると「設定モード」になります。

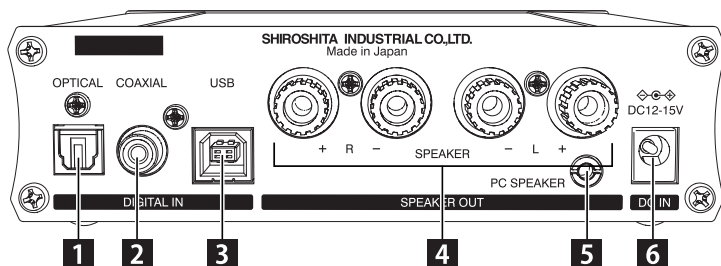
④ 音量ボタン

音量を調節します。
「設定モード」で値を変更します。

⑤ ミュートボタン

音声を消音 (ミュート) または解除します。

後面パネル



1 光デジタル音声入力端子 (OPTICAL)

光デジタル音声出力端子付きオーディオ機器を接続します。(→P12)

2 同軸デジタル音声入力端子 (COAXIAL)

同軸デジタル音声出力端子付きのオーディオ機器を接続します。(→P12)

3 USB 端子 (USB)

パソコンを接続します。

- ・ Mac (→P16)
- ・ Windows (→P18)

4 SPEAKER 端子

スピーカーを接続します。(→P10)

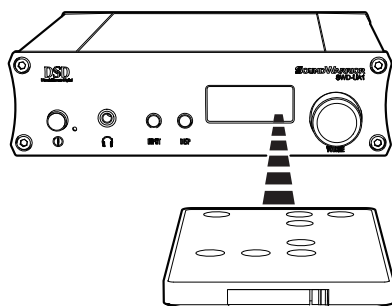
5 PC SPEAKER 端子

アクティブスピーカーやサブウーファを接続します。(→P11)

6 電源入力端子 DC 12-15V (DC IN)

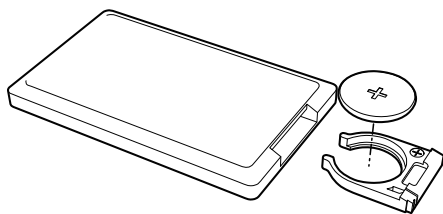
付属の AC アダプターを接続します。(→P13)

リモコンの向き



リモコンはリモコン受光部に向けてご使用ください。

リモコンの電池交換



電池交換の際はコイン型リチウム電池 CR2025 または CR2032 を使用してください。電池のプラス・マイナスを確認して正しく入れてください。

接続のしかた

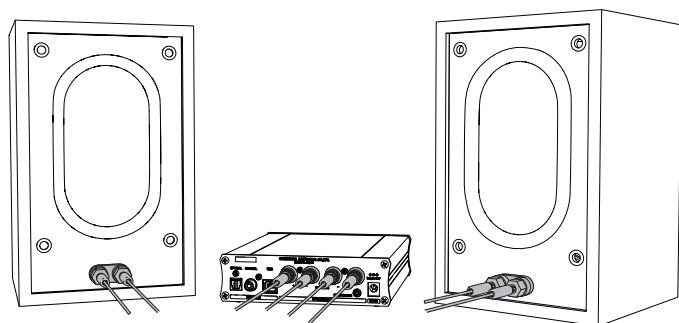
スピーカーの接続

スピーカーはインピーダンス $4\Omega \sim 8\Omega$ のものをご使用ください。
 スピーカーケーブルはバナナプラグまたは Y 型端子が便利です。

接続する前に

- ① 本機の電源を切ってください。
- ② ヘッドホンを接続している場合は、抜いてください。

スピーカーケーブルで「SPEAKER 端子」と接続します。ご使用になるスピーカーの左チャンネル (L) と右チャンネル (R) を確認し、同じ極性を接続してください。スピーカーケーブルは別途ご用意ください。

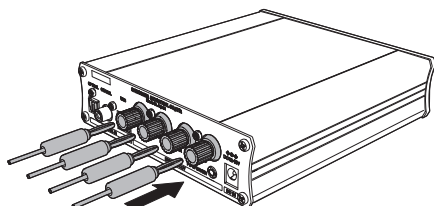


保護回路について

4Ω のスピーカーを大音量で鳴らすと保護回路が働くことがあります（スピーカー出力が停止し、電源ランプが約 3 秒間点滅）。その場合、音量を下げてください。

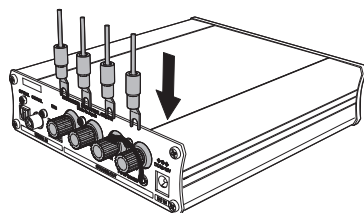
■ バナナプラグの場合

プラグをスピーカー端子に差し込みます。



■ Y 型端子の場合

ノブを左に回し緩め、Y 型端子を挟み、ノブを右に締めます。



サブウーファースの接続

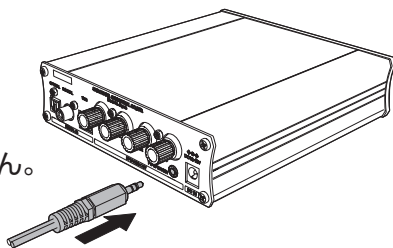
「PC SPEAKER 端子」に接続します。サブウーファーを使用する場合のみ接続してください。

アクティブスピーカーの接続

接続する前に

- ①ヘッドホンを接続している場合は、抜いてください。
- ②スピーカーの電源を切ってから、本機へのプラグの抜き差しを行ってください（雑音の発生を避けるため）。

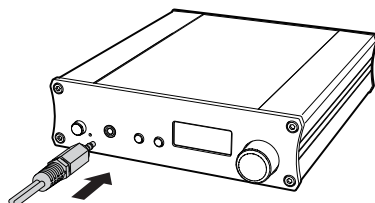
アクティブスピーカーのアナログケーブルで「PC SPEAKER 端子」に接続します。
USB 接続のアクティブスピーカーは接続できません。



アクティブスピーカーを「PC SPEAKER 端子」に接続またはプラグを抜いた時は、スピーカー音量が最小値（00）にリセットされます。スピーカー音量を再度調節してください。

ヘッドホンの接続

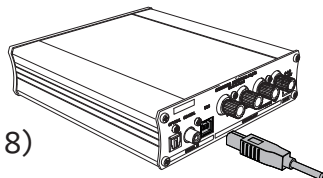
ヘッドホンの 3.5mm プラグで「ヘッドホン端子」に接続します。ヘッドホンのプラグを差し込むと、「SPEAKER 端子」および「PC SPEAKER 端子」からは音が出なくなります。



パソコンの接続 (USB)

本機の電源を切った状態で、本機の「USB 端子」とパソコンを USB ケーブルで接続します。USB ケーブル (Type-B) は別途ご用意ください。長さ 2m以下のケーブルをお使いください。

- Mac については「Mac で再生」 (➡P16) をご覧ください。
- Windows については「Windows で再生」 (➡P18) をご覧ください。



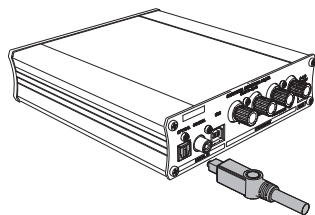
Windows でハイレゾ PCM や DSD を再生する場合は、本機を接続する前に「専用ドライバー」をインストールする必要があります。くわしくは (➡P19) をご覧ください。
Mac での再生にドライバーは必要ありません。

オーディオ機器の接続 (光デジタル音声出力端子付き / OPTICAL)

本機の電源を切った状態で、本機の「OPTICAL 端子」に角型光デジタル (TOS-Link) ケーブルで接続します。光デジタルケーブルは別途ご用意ください。

※丸ピン型の光デジタルケーブルは使用できません。

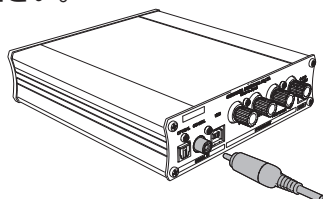
※音声再生は (➡P24) をご覧ください。



オーディオ機器の接続 (同軸デジタル音声出力端子付き / COAXIAL)

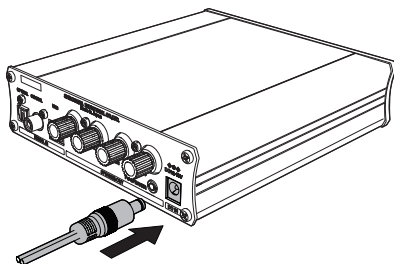
本機の電源を切った状態で、本機の「COAXIAL 端子」に同軸デジタルケーブルで接続します。同軸デジタルケーブルは別途ご用意ください。

※音声再生は (➡P25) をご覧ください。



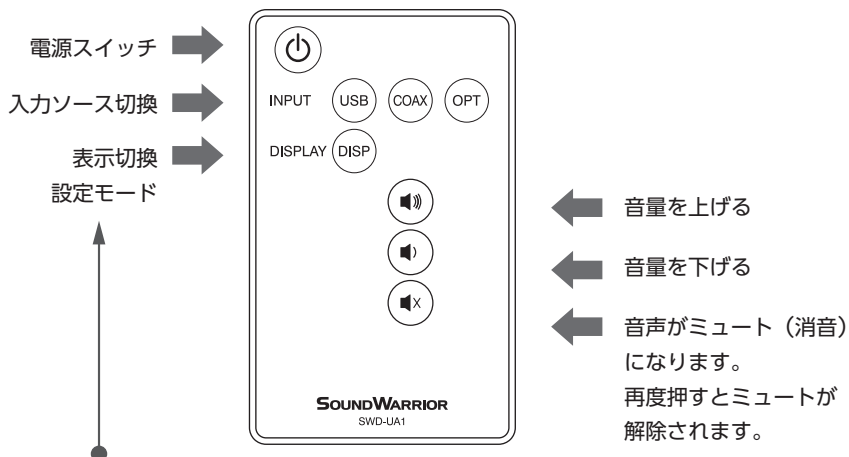
AC アダプターの接続

付属の AC アダプターを本機の「DC IN 端子」に接続し、家庭用電源コンセントに差し込みます。



リモコンの操作

リモコンを使用する場合は、本体の電源スイッチは押したままにしてください。



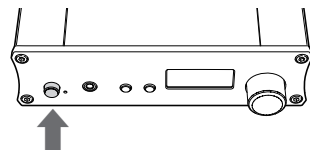
- ディスプレイの表示を切り換えます。くわしくは (➡P26) をご覧ください。
- 2 秒以上の長押しで「設定モード」になります。くわしくは (➡P27) をご覧ください。

基本操作

基本操作

1 電源を入れる

本機の「電源スイッチ」を押します。
電源ランプが点灯していると、電源が入っている状態です。



電源スイッチ

▶ リモコンの電源スイッチ(⏻)でも操作できます。

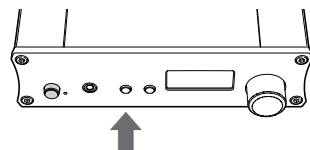
リモコンを使用する場合、本体の電源スイッチは押したままにしてください。

電源をオンにすると、ディスプレイに SOUNDWARRIOR のロゴと型番が表示された後に、「音声信号の情報」の表示になります。



2 入力ソースを選ぶ

「INPUT ボタン」を押して、接続した機器の出力方式に合わせて、入力ソースを選びます。ボタンを押すごとにディスプレイの表示が変わります。



INPUT ボタン

USB 接続



INPUT 押す

COAXIAL
同軸デジタル接続



INPUT 押す

OPTICAL
光デジタル接続



▶ リモコンの電源スイッチでも操作できます。

INPUT



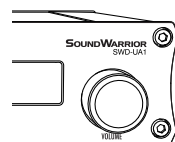
3 音量を調節する

音量調節つまみ (VOLUME) で音量を調節します。

1 ずつ増減します。段階：00 (ミュート / 消音) ~ 50 (最大)

※VOLUME つまみは「設定モード」の操作でも利用するため、止まることなく回転しますが故障ではありません。

▶ リモコンの電源スイッチでも操作できます。



VOLUME つまみ

ディスプレイ表示 (例)

■ ヘッドホンを接続したとき

「ヘッドホン」のアイコンが表示され音量調整できます。ヘッドホン接続中に変更した音量値は、ヘッドホン接続中のみ有効です。

ヘッドホン接続中はスピーカーおよび PC スピーカーの音声は出力されません。



ヘッドホン接続のとき

■ ヘッドホンが未接続のとき

「スピーカー」のアイコンが表示され、スピーカーやアクティブスピーカーの音量調節ができます。

変更した音量値はスピーカー出力及び PC スピーカー出力にのみ有効です。



ヘッドホン未接続のとき

■ ミュート (消音) する

一時的に音を消す場合は、リモコンの「ミュート」ボタンを押して下さい。再度押すとミュートが解除されます。



ミュートのとき

4 電源を切る

本機またはリモコンの「電源スイッチ」を押します。電源が切れると電源ランプが消灯します。

- ・ リモコンで電源を切った後は、わずかに電力を消費します。
- ・ リモコンで電源を切った場合は、リモコンで電源を入れることができます。

再生のしかた

Mac で再生

対応 OS: macOS 10.15 (Catalina)、macOS 11 (Big Sur)

※対応 OS などの最新情報は SOUNDWARRIOR の Web サイトでご確認ください。

<https://soundwarrior.jp/products/swd-ua1/>

※Mac でのハイレゾ PCM や DSD の再生に、専用ドライバーはいりません。

接続する前に本機の電源を切ってください。

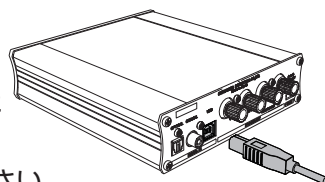
1 Mac と接続する

① USB ケーブルで接続する

本機の電源を切った状態で、本機の USB 端子とパソコンを USB ケーブルで接続します。

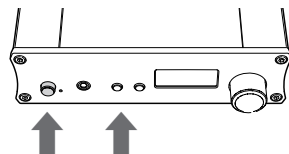
※USB ケーブル (Type-B) は別途ご用意ください。

※長さ 2m 以下のケーブルをお使いください。



② 本機の電源を入れる

本機の「電源ボタン」を押します。



電源スイッチ INPUT ボタン

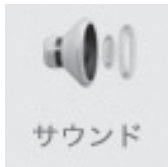
③ 入力ソースの切替

[INPUT ボタン] (入力ソース切替) を押して、「USB」を選択します。



2 サウンドデバイスを設定をする

① Mac の [システム環境設] を開き、[サウンド] を開く。



② [出力] の「SOUND WARRIOR USB DAC」を選ぶ。

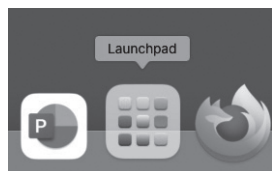


3 サンプル周波数を設定する

「ミュージック」アプリや Web ブラウザの音声を聴く場合、サンプル周波数は Mac の設定に依存するので、Mac 側で設定をします。

※ JRiver Media Center、Audivana など一部の再生ソフトは、Mac のサンプル周波数設定の影響を受けないため、以下の設定は不要です。

① 画面下部の Dock から
[launchpad] を開く。



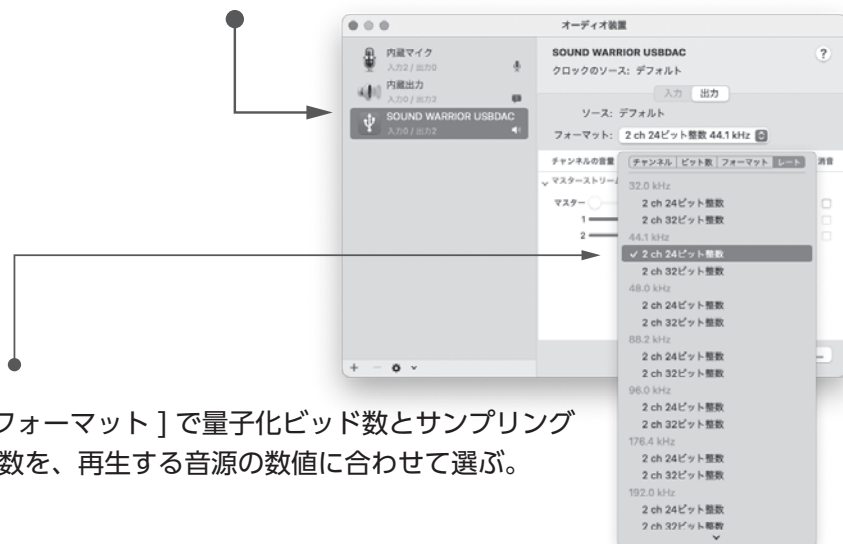
② その他を開く。



③ [Audio MIDI 設定]
を開く。



④ 「SOUND WARRIOR USB DAC」を選ぶ。



⑤ [フォーマット] で量子化ビット数とサンプル周波数を、再生する音源の数値に合わせて選ぶ。

4 再生する

お好みの再生ソフトで音声を再生してください。

再生時に大音量にならないよう、本機の音量をしぼってください。

Windows で再生

対応 OS: Windows 10 (Windows 8.1 以前の OS では使用できません)

対応 OS などの最新情報は SOUNDWARRIOR の Web サイトでご確認ください。

<https://soundwarrior.jp/products/swd-ua1/>

※USB オーディオ転送技術「Bulk Pet(バルクペット)」には対応していません。

ハイレゾ PCM や DSD の再生に必要なもの

Windows パソコンでハイレゾ PCM や DSD を再生する場合には、専用ドライバーと ASIO 対応の再生ソフトが必要です。

① 専用ドライバー

専用ドライバーをインストールすることで、高音質インターフェイスの ASIO(Audio Streaming Input Output) が使用可能になります。

※本機とパソコンを接続する前に、インストールしてください。

※バージョン 1.0.16.46 より古い SIC USB Audio ドライバーは使用できません。古いドライバーをアンインストールしてから、最新のドライバーをインストールしてください。

② ASIO 対応の再生ソフト

高音質インターフェイスの ASIO(Audio Streaming Input Output) に対応した再生ソフト (Foobar2000、JRiver Media Center、Ausirvana、Music Center for PC など) を入手して再生してください。

ハイレゾ PCM や DSD の再生ではない場合は、専用ドライバーをインストールする必要はありません。「専用ドライバーをインストールせずに聴く」(➡P22) をご覧ください。

- iTunes で聴く場合。
- Web ブラウザ (Microsoft Edge、Firefox、Google Chrome など) で YouTube などを聴く場合。

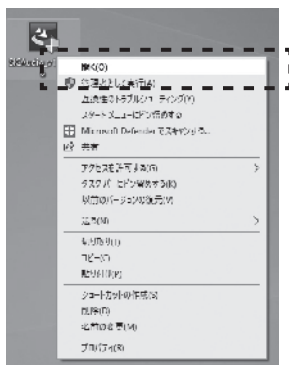
専用ドライバーのインストール (Windows のみ)

パソコンと本機が USB 接続されていない状態でインストールしてください。

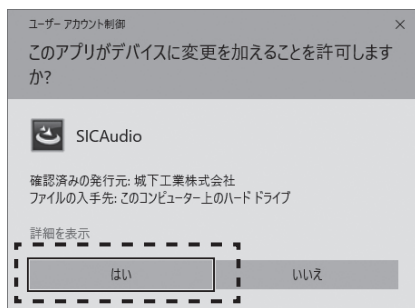
SOUNDWARRIORのWebサイトからドライバーをダウンロードしてください。

<https://soundwarrior.jp/products/swd-ua1/>

① ダウンロードしたファイルを
ダブルクリックし、[開く (O)] を選ぶ。



② [はい] をクリック。



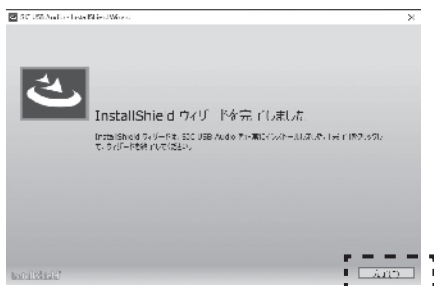
③ [次へ (N)>] をクリック。



④ [インストール (I)>] をクリック。



⑤ [完了 (F)>] をクリック。



1 Windows と接続する

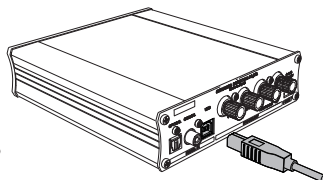
接続する前に本機の電源を切ってください。

① USB ケーブルで接続する

本機の電源を切った状態で、本機の USB 端子とパソコンを USB ケーブルで接続します。

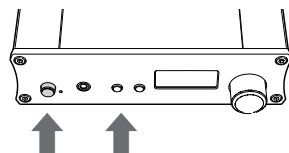
※USB ケーブル (Type-B) は別途ご用意ください。

※長さ 2m以下のケーブルをお使いください。



② 本機の電源を入れる

本機の「電源ボタン」を押します。



電源スイッチ INPUT ボタン

③ 入力ソースの切替

[INPUT ボタン] (入力ソース切替) を押して、「USB」を選択します。



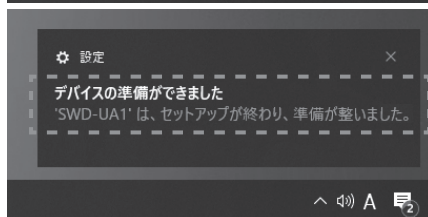
2 デバイスのセットアップ

パソコン画面が「デバイスのセットアップ」状態になります。セットアップが完了するまでしばらくお待ちください。

① パソコンの画面上に「デバイスのセットアップ」が表示されます。



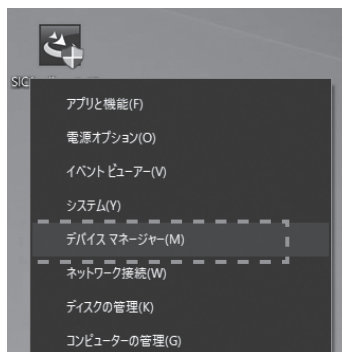
② 完了すると「デバイスの準備ができました」が表示されます。



3 本機との接続を確認する

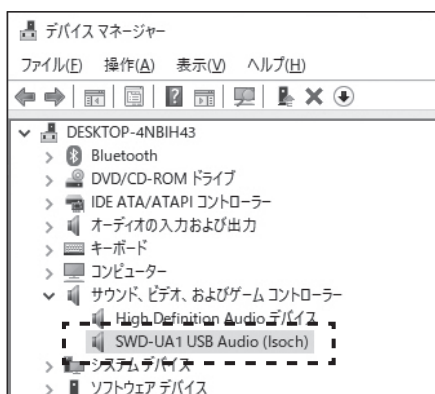
パソコンから本機が正しく認識されているかを確認します。

- ① パソコン画面のスタートボタンを右クリックし「デバイスマネージャー (M)」を選びます。



- ② 「サウンド、ビデオ、およびゲームコントローラー」を展開し、本機を確認します。

「SWD-UA1 USB Audio (Isoch)」が表示されていたら、本機が正しく認識されています。



「SOUND WARRIOR USB DAC」と表示されていたら、専用ドライバーがインストールされていません。専用ドライバーをインストールしてください。(➡P19) をご覧ください。

4 再生する

ハイレゾ PCM や DSD の再生には ASIO 対応の再生ソフトが必要です。再生ソフトを入手し、再生してください。

再生時に大音量にならないよう、本機の音量をしぼってください。

専用ドライバーをインストールせずに聴く

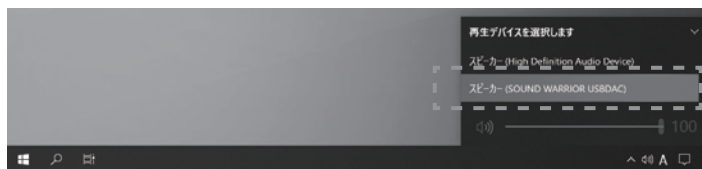
iTunes や Web ブラウザで YouTube などを聴く場合は、専用ドライバーのインストールは必要ありません。

1 Windows パソコンと接続する (➡P20) をご覧ください。

2 デバイスのセットアップ (➡P20) をご覧ください。

3 スピーカーの設定

タスクバーのスピーカーアイコンをクリックし、
「スピーカー (SOUND WARRIOR USBDAC)」を選択します。



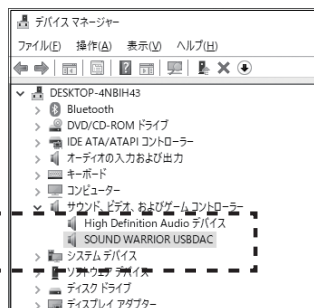
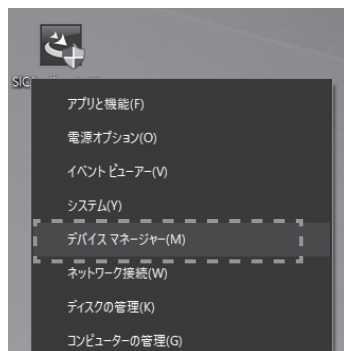
4 本機との接続を確認する

パソコンから本機が正しく認識されているかを確認します。

① パソコン画面のスタートボタンを右クリックし「デバイスマネージャー (M)」を選びます。

② 「サウンド、ビデオ、およびゲームコントローラー」を展開し、本機を確認します。

「SOUND WARRIOR USBDAC」が表示されていたら、本機が正しく認識されています。



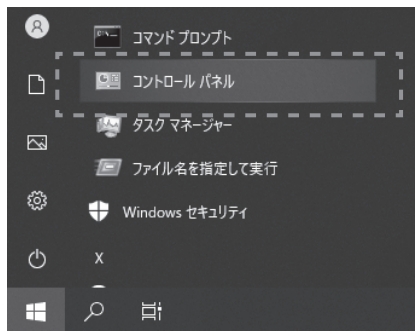
5 再生する

再生時に大音量にならないよう、本機の音量をしばってください。

バッファサイズを調節する

再生時に音が途切れやすい場合は、バッファサイズを調節してください。
通常は変更の必要はありません。

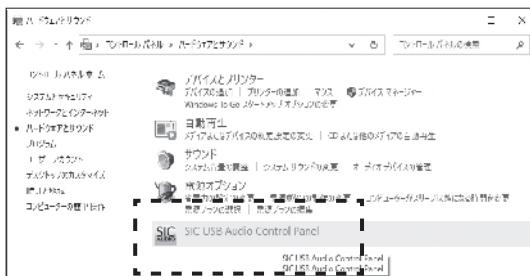
① コントロールパネルを開く。



② 「ハードウェアとサウンド」と開く。

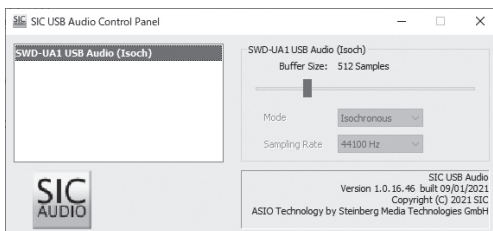


③ 「SIC UAB Audio Control Panel」を開く。



④ バッファサイズを調節する。

「Buffer Size」の設定値を大きくすると音が途切れにくくなります。



オーディオ機器で再生（光デジタル音声出力端子付き / OPTICAL）

OPTICAL（光デジタル）出力端子のあるテレビ、DVD プレーヤー、BD プレーヤーなど。

接続する前に本機の電源を切ってください。

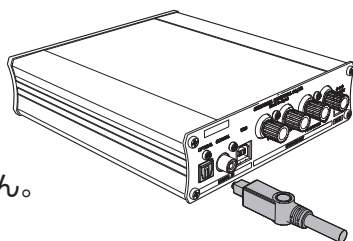
1 オーディオ機器（OPTICAL）と接続する

① 角型デジタル（TOS-Link）ケーブルで接続する

テレビなどの光デジタル出力端子と、本機の OPTICAL 入力端子と角型デジタル（TOS-Link）ケーブルで接続します。

※光デジタルケーブルは別途ご用意ください。

※丸ピン型の光デジタルケーブルは使用できません。

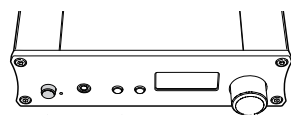


② 本機の電源を入れる

本機の「電源ボタン」を押します。

③ 入力ソースの切替

[INPUT ボタン]（入力ソース切替）を押して、「Opt」を選択します。



電源スイッチ INPUT ボタン

2 再生する

再生時に大音量にならないよう、本機の音量をしぼってください。



入力音声信号について

本機が対応しているのはリニア PCM 信号（LPCM）です。

AC-3 や DTS など、リニア PCM 信号以外の信号は認識できません。

ご使用のオーディオ機器の設定をご確認ください。

オーディオ機器で再生（同軸デジタル音声出力端子付き / COAXIAL）

COAXIAL（同軸デジタル）出力端子のある CD プレーヤー、デジタルコーダーなど。

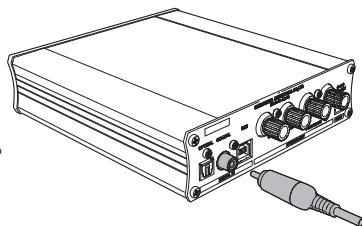
接続する前に本機の電源を切ってください。

1 オーディオ機器（COAXIAL）と接続する

① 同軸デジタルケーブルで接続する

CD プレーヤーなどの同軸デジタル出力端子と、本機の COAXIAL 入力端子と同軸デジタルケーブルで接続します。

※同軸デジタルケーブルは別途ご用意ください。

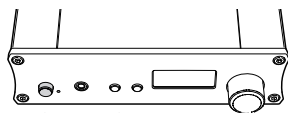


② 本機の電源を入れる

本機の「電源ボタン」を押します。

③ 入力ソースの切替

[INPUT ボタン] (入力ソース切替) を押して、「Coax」を選択します。



電源スイッチ INPUT ボタン



2 再生する

再生時に大音量にならないよう、本機の音量をしばってください。

Emph 表示について

OPTICAL または COAXIAL を選択中、プリエンファシスが検出されると「Emph」と表示されます。

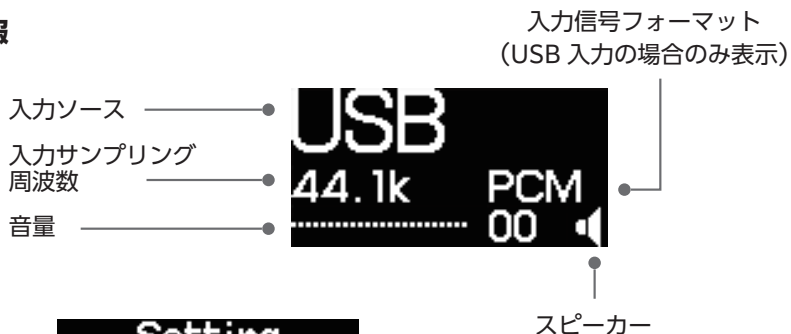


ディスプレイ

ディスプレイ

「音声信号の情報」や「設定モード」のメニュー画面が表示されます。

■ 音声信号情報

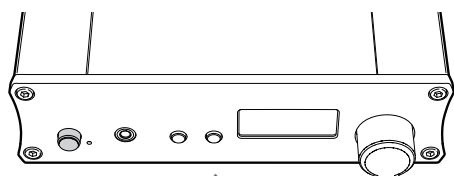


■ 設定モード

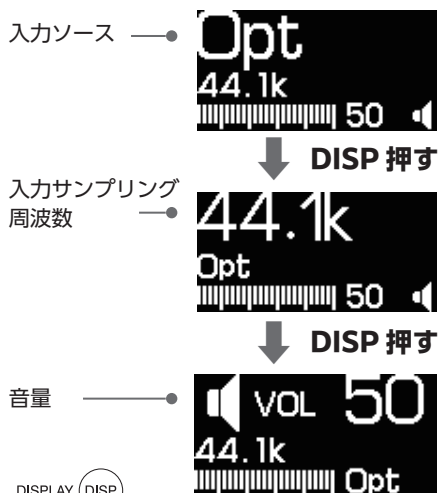


表示切換

大きく表示したい情報を、本体またはリモコンの [DISP ボタン] で上段に移動させることができます。



DISP ボタン



▶ リモコンの電源スイッチでも操作できます。 DISPLAY 

設定モード

ディスプレイの明るさなどの設定の変更ができます。

- ・ [DISP ボタン] を 2 秒以上長押し「設定モード」にします。
- ・ [VOLUME（音量調節つまみ）] で段階数値や有効／無効の変更を行います。
- ・ [DISP ボタン] を押し、次の設定項目に移動します。

① LED Bright | 電源ランプの明るさ

明るさを調節します。

- ・ 段階： 0（消灯）、1（暗い）～ 20（明るい）



↓ DISP 押す

② Disp Bright | ディスプレイの明るさ

明るさを調節します。

- ・ 段階： 00（暗い）～ 100（明るい）



↓ DISP 押す

③ Screen Saver | スクリーンセイバー

スクリーンセーバーの有効／無効を変更します。

- ・ ON：最後の操作から約 1 時間後に有効になる。
- ・ OFF：スクリーンセーバーが無効になる。
- ・ Display Off：最後の操作から約 10 分後に表示が消える。



↓ DISP 押す

④ Low EMI | スピーカー出力の放射ノイズ

本機を使用中にラジオなどの雑音が入る場合は、低 EMI モードを有効にしてください。スピーカーケーブルからの放射ノイズが低減されます。

- ・ OFF：低 EMI モードが無効になる。
- ・ ON：低 EMI モードが有効になり、放射ノイズが低減される。

※十分な効果が得られない場合もあります。



↓ DISP 押す

⑤ 音声信号の情報の表示

最後の設定項目まで行き [DISP ボタン] を押すと、通常のディスプレイ情報（音声信号の情報）の表示に戻ります。



ディスプレイの表示 (例)

■ 入力信号がないとき



「No Input」と表示

- USB : USB 接続 (USB 端子) を選択中
- No Input : 入力信号なし
- 00 : 音量が最小値の 00
- スピーカーマーク : ヘッドホン未接続

■ 入力音声信号が PCM



「PCM」と表示

- USB : USB 接続 (USB 端子) を選択中
- 44.1k : 入力サンプリング周波数が 44.1k
- PCM : 入力音声信号が PCM
- 50 : 音量が最大値の 50
- ヘッドホンマーク : ヘッドホン接続中

■ 入力音声信号が DSD



「DSD」と表示

- USB : USB 接続 (USB 端子) を選択中
- 24.5M : 入力サンプリング周波数が 24.5M
- DSD : 入力音声信号が DSD
- 50 : 音量が最大値の 50
- スピーカーマーク : ヘッドホン未接続

■ COAXIAL 端子を選択



「Coax」と表示

- Coax : 同軸デジタル接続 (COAXIAL 端子) を選択中
- 44.1k : 入力サンプリング周波数が 44.1k
- 50 : 音量が最大値の 50
- スピーカーマーク : ヘッドホン未接続

■ OPTICAL 端子を選択



「Opt」と表示

- Opt : 光デジタル接続 (OPTICAL 端子) を選択中
- 192k : 入力サンプリング周波数が 192k
- 50 : 音量が最大値の 50
- スピーカーマーク : ヘッドホン未接続

※入力音声信号 (PCM/DSD) の表示は、USB 接続のみ。

※情報の表示切換は [DISP ボタン] でできます (➡P26)

■ ヘッドホン未接続

「スピーカーマーク」が表示



- Coax : 同軸デジタル接続 (COAXIAL 端子) を選択中
- No Input : 入力信号なし
- 50 : 音量が最大値の 50
- スピーカーマーク : ヘッドホン未接続

■ ヘッドホンを接続

「ヘッドホンマーク」が表示



- USB : USB 接続 (USB 端子) を選択中
- 44.1k : 入力サンプリング周波数が 44.1k
- 50 : 音量が最大値の 50
- ヘッドホンマーク : ヘッドホン接続中

■ 音量

数字とバーで表示



- USB : USB 接続 (USB 端子) を選択中
- 44.1k : 入力サンプリング周波数が 44.1k
- PCM : 入力音声信号が PCM
- 20 : 音量が 20 (最大値は 50)

■ スピーカーをミュート

「スピーカーマーク」に斜線



- スピーカーマーク : 斜線で表示されミュート (消音)
- 44.1k : 入力サンプリング周波数が 44.1k
- PCM : 入力音声信号が PCM
- USB : USB 接続 (USB 端子) を選択中

■ プリエンファシスを検出

「Emph」と表示



- Opt : 光デジタル接続 (OPTICAL 端子) を選択中
- 44.1k : 入力サンプリング周波数が 44.1k
- 50 : 音量が最大値の 50
- Emph : プリエンファシスを検出
- スピーカーマーク : ヘッドホン未接続

お困りの時は

■ パソコンで正しく認識されない (Windows)

原因として主に考えられること	対処方法
OS が対応していない。	対応 OS は Windows10 です。Windows8.1 以前の OS では使用できません。
接続に失敗している。	本機の電源を切り、パソコンを再起動してから再度接続してください。
旧バージョンのドライバーがインストールされている。	バージョン 1.0.16.46 より古いドライバーでは使用できません。USB ケーブルを抜き古いドライバーをアンインストールし、最新のドライバーをインストールしてください。(➡P19)

■ サンプル周波数の表示が音源と違う (Windows)

原因として主に考えられること	対処方法
ASIO 非対応の再生ソフトで再生している。または ASIO が有効になっていない。	専用ドライバーと ASIO 対応の再生ソフトが必要です。再生ソフトでの出力デバイス (Device) の設定は「ASIO - SIC USB Audio」を選んでください。
Web ブラウザでストリーミング再生している。	Web ブラウザは ASIO 非対応です。サンプル周波数は Windows のサウンド設定で変更してください。

■ サンプル周波数の表示が音源と違う (Mac)

原因として主に考えられること	対処方法
Web ブラウザでストリーミング再生している。	サンプル周波数は Mac のサウンド設定に依存します。Mac の「Audio MIDI」で変更してください。(➡P17)

■ 入力信号が認識されない (Optical / Coaxial)

原因として主に考えられること	対処方法
リニア PCM (LPCM) データではない。	本機が対応しているのはリニア PCM 信号 (LPCM) です。AC-3 や DTS などリニア PCM 信号以外の信号は認識できません。ご使用のデジタル機器の設定をご確認ください。
ケーブルに異常がある	ケーブルがきちんと差し込まれているかご確認ください。ケーブルが断線していないかご確認ください。
出力側の機器に問題がある。	出力側の機器の状態をご確認下さい。

商標 について

DSD はソニー株式会社の商標です。

Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標です。

Mac、macOS は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。

ASIO は Steinberg Media Technologies GmbH の登録商標です。

主な仕様

■ 一般

電源

電源電圧

DC 12 V ~ 15 V

消費電力

最大 35W、待機時 0.05w

外形寸法

146.5 mm (W) × 40 mm (H) × 165.6 mm (D) (突起物含まず)

146.5 mm (W) × 40 mm (H) × 202 mm (D) (突起物含む)

本体質量

0.7 kg

動作温度環境

5 °C ~ 40 °C

■ 入力

USB 端子

TYPE B

PCM サンプリング周波数

44.1 / 48 / 88.2 / 96 / 176.4 / 192 / 352.8 / 384 kHz

PCM 量子化ビット数

16 / 24 / 32 bit

DSD サンプリング周波数

2.8224 / 5.6448 / 11.2896 MHz

COAXIAL / OPTICAL 端子

RCA / 角型光コネクタ (TOS-Link)

信号規格

S/PDIF (IEC-60958) 2ch リニア PCM

サンプリング周波数

44.1 / 48 / 88.2 / 96 / 176.4 / 192 kHz

量子化ビット数

16 / 24 bit

■ 出力

SPEAKER 端子

4mm バナナプラグ対応端子

最大出力

11W+11 W (1 kHz、1 %、8 Ω)

適合スピーカーインピーダンス

4 Ω ~ 8 Ω

PC SPEAKER 端子

φ3.5 mm ミニジャック

最大出力

+11.0dBm (2.7Vrms)

PHONES 端子

φ3.5 mm ミニジャック

最大出力

60 mW (1 kHz、1 %、40 Ω)

アフターサービス

保証期間中は

修理をご希望の際は保証書をご提示の上、下記の事項を添えてお買い上げの販売店にご依頼ください。

● お名前

● お電話番号

● ご住所

● メールアドレス

● 製品名「SWD-UA1」

● シリアル番号（保証書に表示しています）

● 故障状況とご使用の環境

保証期間が過ぎた時は

修理が可能な場合は有償にて承ります。
お買い上げの販売店へご相談ください。

その他のお問い合わせ

ご不明な点などについては、下記アドレス宛にメールにてご相談ください。

城下工業株式会社サポート係

userinfo@shiroshita.com

SOUNDWARRIOR



城下工業株式会社
SHIROSHITA INDUSTRIAL CO.,LTD.

〒386-0015 長野県上田市常入 1-1-58
<https://soundwarrior.jp/>



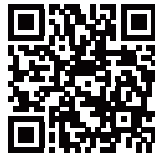
SoundWarrior.jp



@SoundWarrior_jp



@SoundWarrior.jp



@SoundWarrior_jp